令和8年度

対人支援専門職のためのケースマネジメント研修

～支援に役立つアセスメント技術を身につけるために～

【日　時】　2027年２月11日（木・祝）　10:00～17:00
【講　師】　近藤直司　先生（本学名誉教授）
【対　象】　※①、②ともに担当ケースの報告が可能な方に限ります
　① 福祉・心理専門職として治療・教育・相談・指導等に関わっている方
　② 臨床心理学専攻の大学院生
【定　員】　30 名　（先着順）
【受講料】　現任者 8,000円／大学院生 4,000 円
【会　場】　大正大学巣鴨キャンパス ８号館４階礼拝ホール



講師　近藤直司先生

＜企画趣旨＞

まず、対人支援におけるケースのアセスメントを、『一つ一つの情報やエピソードを評価・解釈し、それらを組み立てることによって、生じている問題の成り立ちを明らかにする、もしくは仮説を立て、支援課題・目標を抽出・設定すること、あるいは、その人がどんな人で、どんな支援を必要としているのかを明らかにする、もしくは仮説を立てること』と定義しておきたいと思います。

ケースマネジメントの技術を高めるためには、インテイク（情報の収集と整理）－アセスメント－プランニング（支援計画の策定）という作業過程、とくに、「情報・エピソード」と「評価・アセスメント」との違いを明確に意識することが決定的に重要です。また、『生物－心理－社会モデル』を使いこなすことによって、包括的でバランスのよいアセスメント技術が身に付くと思います。

本研修の到達目標は、①生物－心理－社会モデルのアセスメントに基づいたケースマネジメントの方法を身に付ける、②日常業務におけるケースのレポートと記録をスキルアップにつなげる方法を理解する、③ケース検討会議の質を高める方法を理解する、という三点です。

守秘性には十分に配慮しますので、ご自身が担当したケースをレポートできる方に受講していただきたいと思います。また、研修当日までに事前課題があります。アセスメントとケースマネジメントの技術を高めたい方、ケース検討会議の進め方に迷っている方、組織の人材育成やチームのレベルアップについて考えている方にお勧めします。

なお、この研修は、国立リハビリテーションセンターで開催されている相談支援従事者指導者養成研修（いわゆる「国研修」）のケアマネジメント基礎コースと同じ内容です。「障害者相談支援従事者研修テキスト 初任者研修編」（中央法規、2020）で導入されたニーズ整理票を活用してご参加いただくことができます。

【参考図書】 近藤直司：アセスメント技術を高めるハンドブック 第3版（明石書店、2022）

文責：近藤　直司、大正大学名誉教授

＜プログラム＞

時間	形式	テーマ
10:00～10:30	講義	生物・心理・社会モデルとフォーマット作成の留意事項
10:40～11:10	個人ワーク	フォーマットの修正
11:10～12:00	グループワーク	アイスブレイク、5分レポート（前半3セッション）
12:00～13:00	昼休み	
13:00～13:45	グループワーク	5分レポート（後半3セッション）の振り返り
13:45～14:15	―	質疑応答・意見交換
14:30～15:00	講義	ケース検討会議の進め方
15:00～16:00	グループワーク	ケース検討会議
16:15～16:30	グループワーク	ケース検討会議の振り返り
16:30～17:00	―	質疑応答・意見交換・アンケート

＜申込方法＞

以下のフォームよりお申込みください。

https://forms.gle/BMs2aAws7fQzaMbY6

＜受付期間＞

2026年11月6日(金)～ 2027年1月6日(水)

＊ **先着順**に受付いたします。定員に達した場合、上記期日より前に締め切る場合があります。

＊ ご参加が確定した方には、1月下旬に事前課題をお送りいたします。

＊ 本研修は、条件を満たした場合、日本臨床心理士資格認定協会「臨床心理士教育・研修委員会規程別項第2条（4）」ワークショップ型研修会ポイント申請予定です。

【お問い合わせ】（担当：竹内）
大正大学カウンセリング研究所
〒170-8470 東京都豊島区西巣鴨 3-20-1
TEL：03(5394)3035／FAX：03(5394)3041
Mail：cou-moushikomi@mail.tais.ac.jp